

会長賞

■大迫田代々木線（表彰対象者：徳山市 (財)徳山市都市開発事業団）

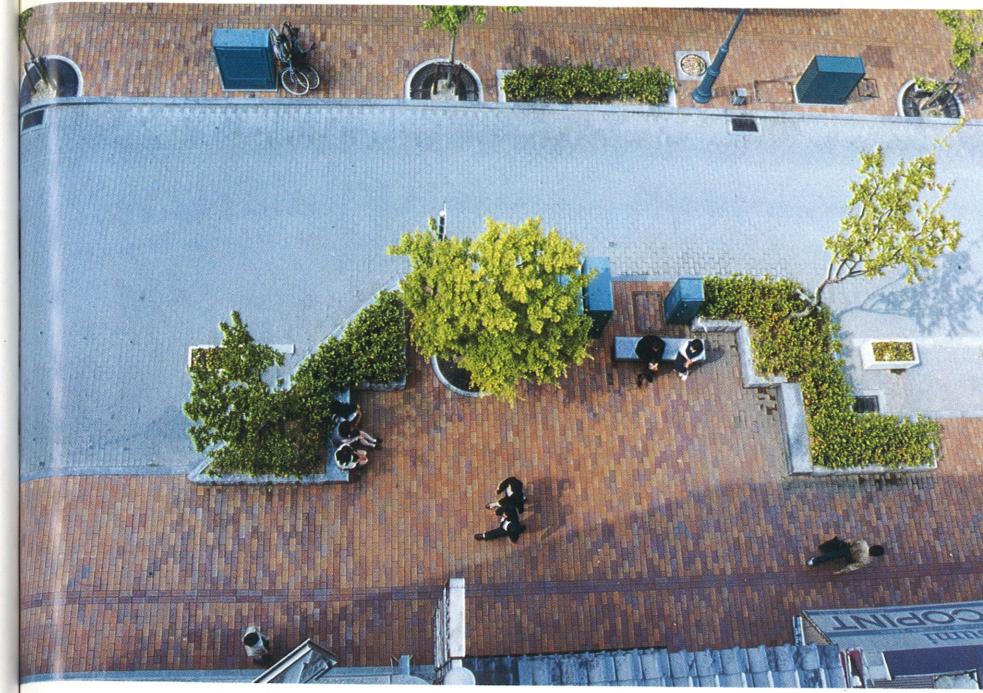
事業のあらまし

この事業は、徳山港線（通称：平和通り）と徳山停車場線（通称：御幸通り）の間を整備する事業であり、JR徳山駅東方に広がる商業・業務の中心地域に位置する幹線道路である。

既存の道路は、戦災復興事業により整備されたものであり、老朽化が著しく、歩道も狭く、商店街の魅力が半減して

いた。このため、地元の若手商店主達が中心となり、新しい街づくりのための働きかけがなされ、その結果、NTT-A型資金の活用により、憩いの場、交流の場となるアメニティ街路が整備されたものである。

- ・延長 312m
- ・幅員 15m
- ・事業費 154百万円



快適な商業環境をつくるため、街路はボンエルフ形式を採用し、歩道部には地元産の御影石のベンチや碁盤テーブルを配したポケットスペースを設けた。

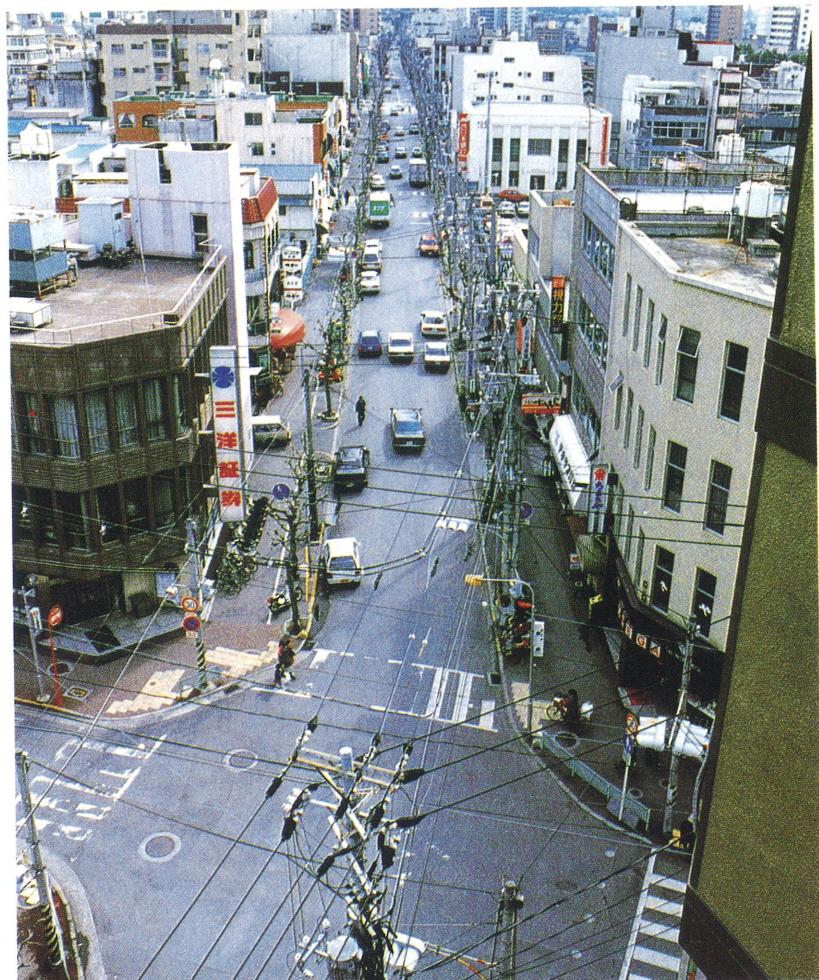
ケヤキ、サルスベリ、山モミジを基調に、ツツジ、寒椿、クチナシ、ジンチョウゲが四季を通して市民の目を楽しませてくれる。



電線の地中化も実現し、すっきりした街並となつた。



着工前



完成後



人にやさしいふれあい空間



フラワーポットの維持管理は地元商店街の協同組合が行っている

受賞の理由

事業実施にあたり地元商店街が協同組合を結成し、街路灯の電気料の支払いやフラワーポットの維持管理も協同組合が行うなど、極めて協力的であり、官民一体となって市民の憩いの場を創出したことが評価された。

